

河川協力団体

NPO法人 ふらっと南幌

「ふらっと南幌」は地域社会の活性化を目的に、地域の歴史や自然などの魅力を発掘、発信する活動を行っています。

フットパスイベント等を通じて、幌向駅跡・幌向運河・耕地防風林・夕張川新水路などの歴史・産業遺産について紹介しています。

また、幌向湿原という貴重な環境の保護、再生にも取り組んでいます。

【平成21年(2009)設立】

河川協力団体としての活動内容

(平成27年3月5日河川協力団体指定)

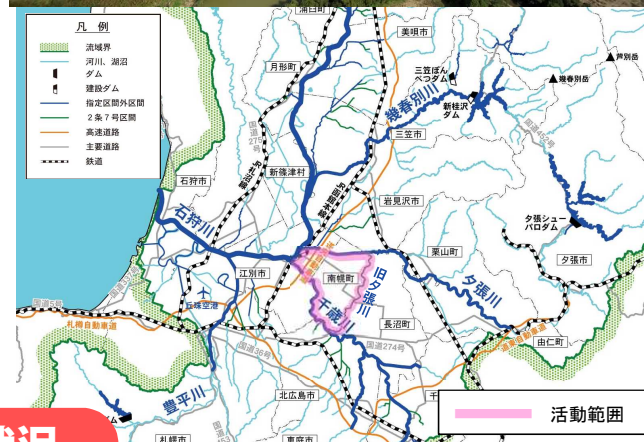
石狩川水系夕張川

河川清掃(除草含む)、植物調査

石狩川水系石狩川、夕張川、千歳川、

旧夕張川

自然体験学習



主な活動状況

自然体験学習(フットパスほか)

自然体験学習として、11月にフットパスや湿原をテーマとしたイベントを兼ねて、幌向地区自然再生地での取り組みの勉強会や湿生植物の移植体験及び帰化植物(ユウゼンギク)の駆除作業を行っています。参加者30名。

(令和4年7月10日)

植物調査

全国的にも貴重な高層湿原である幌向原野の湿生植物を保護・再生するために、有識者や行政と連携して現地調査や勉強会、イベント活動を行っています。湿原環境の大切さを説いていただいた故辻井達一先生の遺志を引き継ぎ活動しています。11月には、幌向地区自然再生地の維持のためミズゴケ導入活動を行っています。

(令和4年10月23日)



湿原フットパス
(残存湿地の観察)



湿原をテーマにした
イベント



湿生植物の移植体験



帰化植物の駆除



幌向再生地の取組説明



ミズゴケ導入活動